

令和3年度 白川郷学園 健康教育 研究構想

【児童生徒の健康課題】

- ・メディア等の使用により就寝時刻が遅く、生活リズムが乱れていた
- ・基本的な生活習慣が身に付いていない（生活のセルフコントロールが難しい）児童生徒がいる。
- ・歯科、眼科、耳鼻科などの受診率の低さから、健康に対する意識の低さがみられる。
- ・自分が嫌なこと、困難なことに直面したときに、体調不良を訴える心の弱さがみられる。

【学校教育目標】

ひとりだち

自立 共生 貢献

【健康教育において

今後求められるもの】

- ・健康であることの価値を認識し、健康な生活を送ろうとする意識の向上。
- ・ヘルスリテラシー（自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにしていく能力）の向上。
- ・レジリエンス（立ち直り力・回復力）の向上。

【白川郷学園で求められる児童生徒像】

- ①自立・・・意欲的に学び、より質の高いものを自ら求め続ける子
- ②共生・・・対話的に学び、仲間と協力して活動する子
- ③貢献・・・深く学び、仲間・地域のために行動する子

【研究主題】 「先を読む力」を発揮し、学びを加速させる姿を目指して

【全教育活動を通して育てたい資質能力：先を読む力】

先を読む力とは、児童生徒が主体的に問題解決の方法を生み出していく力である。この力は、教師が手立てを与えすぎるとは培われることはない。全教育活動を通して、児童生徒が、これまでに身に付けた既習内容や生活経験、様々な見方・考え方を駆使して、仲間との対話をしながら試行錯誤する営みを繰り返す中で、培われるものであると捉えている。

【健康教育で願う子どもの姿（「先を読む力」を発揮している姿）】

- 自分がこれまで得てきた健康に関する知識や経験から、学習課題に対して予想を立てたり、深く考えたりする姿。
- 科学的根拠や自分が考えたことを、自分の実生活に生かしていく方法を具体的に考え、表現する姿。

【研究内容・具体的な手立て】

(1) 主体的に問題を見いだす導入の工夫	(2) 自ら解決方法を生み出す学習活動の工夫	(3) 自己の学びを自覚する終末の工夫
<ul style="list-style-type: none">・岐阜県・飛騨地区・白川村など、他と比較したり、心にせまる資料を提示することで、「このままではいけない」と感じる導入の工夫をする。そして、自分のこととして問題を捉え、学習意欲を高める。・「なぜ?」「知りたいな!」「どうするとよいのだろうか?」などと、疑問を抱く導入を工夫し、必然性のある課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none">・自分もっている健康に関する知識や経験を引き出しながら考え、課題に対して予想を立てる場を設定する。・世界や日本全国の実態やデータ等を示すことで、幅広い視野をもって考えることができるようにする。・科学的根拠や数値等を示すことで「そうか!」「わかった!」につながる学習展開を工夫する。	<ul style="list-style-type: none">・本時考えたことを、自分の生活と結びつけ、今後どう生かしていくか、どう行動して生きていくかを具体的に考え、表現する場を設定する。

第2学年 学級活動学習指導案

日時 令和3年10月13日(水)

場所 2年生教室

授業者 黒岩 由季(T1)

野島 友紀(T2)

1 題材名 「元気のひみつ〜は〜」

2 本時のねらい (2/3)

毎週行っているフッ化物洗口は、歯の質を強くし、むし歯予防につながることを根拠を明らかにしながら理解し、自分の歯の健康のために、フッ化物洗口を効果的に実施しようとする意欲を高めることができる。

本時における「先を読む力を発揮して、学びを加速させている姿」

フッ化物洗口の効果について、自分がこれまで得てきた知識や経験・提示資料から探り、見つけ出すなかで自分の考えをまとめ、実験からさらに理解し、本時の自分の学びを表現している姿。

3 本時の展開

過程	主な学習活動	指導・援助(・) / <研究内容>
導入	<p>1 課題をつくる(知りたいと思ったことから)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防(歯の健康)のために、毎日歯みがきをしている。 ・毎週水曜日の朝、必ずフッ化物洗口を行っている。 ・保育園のときからずっとフッ化物洗口を行っている。 ・フッ化物洗口は「嫌だな」「めんどうだな」と思うことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のフッ化物洗口の溶液やフッ化物洗口をしている写真、アンケート結果を提示する。そこで、当たり前のように機械的に行っているフッ化物洗口について振り返り、なぜ行っているのか、一体何のために行っているのか疑問を抱かせることで、必然性のある課題を設定できるようにする。 <研究内容1> ・自分も持っている知識や経験から、課題に対しての予想を立てる。<研究内容2> ・ロイロノートの資料を自由に選択し、課題に対しての自分の考えをもつことができるようにする。 <研究内容2> ・卵の実験から、フッ化物が酸によって歯の表面が溶けること(脱灰)を防ぐ科学的根拠を示すことで、フッ化物洗口の効果をより理解できるようにする。<研究内容2> ・本時に学んだことから、今後のフッ化物洗口の場合でどう生かしていくかを、実際に洗口をしながら具体的に考えることで、実践化を図ることができるようにする。 <研究内容3>
展開	<p>2 予想する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯菌をやっつける。 ・むし歯にならないようにする。 ・口の中をきれいにする。 ・歯を強くする。 	
	<p>3 考える</p> <p>(ロイロノートの資料(イラスト)から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸によって溶けにくい、強い、丈夫な歯にする。 ・むし歯になりかけた歯を、元にもどす。 ・口の中のむし歯菌の力を弱める。 <ul style="list-style-type: none"> →歯垢が作られるのを抑える。 →酸によって歯が溶ける(穴があく)ことを抑える。 ⇒むし歯にならないようにする。 	
	<p>4 深める</p> <p>卵の実験から、フッ化物の働きとフッ化物洗口の意味・効果を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物を塗っていない卵は、泡が出て溶けている。 ・フッ化物を塗っている卵は、何も起こっていない。 <ul style="list-style-type: none"> →フッ化物は、歯が溶けない強い、丈夫な歯にする。 ⇒むし歯にならないようにする。 	
	<p>5 まとめる</p>	
終末	<p>①はをじょうぶにする。 ②むしばになりそうなはをなおす。 ③きんのはたらきをよわめる。 ⇒むしばになりにくくする。</p>	
	<p>6 やってみる →実践策をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからフッ化物洗口をするときは、液が口の中全部に広がるように、歌に合わせて上下左右しっかりブクブクしたい。 ・歯のすみずみまで液がいくように、空気をためてブクブクしたい。 	<p>【評価規準】 フッ化物洗口の意味・効果を理解し、これからより効果的にフッ化物洗口をするために具体的な方法を考え、自分の歯の健康のために行動する意欲をもつことができている。【思考・判断・表現】 (プリント記述・発言内容)</p>

4 本題材のねらい

知識及び技能	<p>むし歯の原因には、むし歯菌（ミュータンス菌）・糖分・歯垢・酸があることを理解し、自分の歯の健康のためには、甘いものなど糖分量を減らすこと、歯みがきをして歯垢をとることを理解することができる。</p> <p>毎週1回行っているフッ化物洗口は、歯を丈夫にしたり、むし歯菌の働きを抑えてむし歯になりにくくしたり、むし歯になりそうな歯を治したりする（再石灰化）働きがあることを理解することができる。</p>
思考力、判断力、表現力等	<p>むし歯の原因は何か、毎週一回実施しているフッ化物洗口はどんな意味や効果があるのかを、自分もっている知識や経験から予想したり、資料から考えたりすることができる。</p> <p>自分の歯の健康のために、フッ化物洗口を効果的に行うためには、これからどんなことに気をつけるといいのか、自分の考えをまとめて表現することができる。また、それを他学年の児童にわかりやすく伝えることができる。</p>
学びに向かう力・人間性等	<p>自分の健康や自分の体の仕組みや働きに、興味をもって学びに向かうことができ、自分もっている知識や経験から課題解決に向けて主体的に考えることができる。また、自分が学んだことを他の児童にわかりやすく伝えようとすることができる。</p>

5 本題材における「先を読む力を発揮して、学びを加速させている姿」



むし歯にならないようにするために、なるべく甘いものを食べないことや、しっかり歯みがきをして歯垢をとること、フッ化物洗口が大切だとわかった。そして、これからフッ化物洗口をするときは、フッ化物が全部の歯に広がるように、少し下を向いて歌に合わせてしっかりブクブクをして、丈夫な、健康な歯にしたい。

6 指導計画

時	学習課題	ねらい 【評価規準】
1	むしばはどうしてできるのかな。 〈みがきの時間（10分）〉	<p>むし歯の原因と、むし歯になる過程を理解することができる。</p> <p>【知識・技能】</p>
2 (本時)	フッカぶつせん口をすると、どんなよさがあるのかな。	<p>毎週行っているフッ化物洗口は、歯の質を強くし、むし歯予防につながることを根拠を明らかにしながら理解し、自分の歯の健康のために、フッ化物洗口を効果的に実施しようとする意欲を高めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>
3	フッカぶつせん口のよさと、フッカぶつせん口をするときのポイントを、3年生につたえよう。 〈みがきの時間（10分）〉	<p>前時に学習した、フッ化物洗口の意味・効果と、フッ化物洗口を効果的にするための具体的な方法を、3年生の児童にわかりやすく伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>